

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No.34

2012年

2月10日

〒680-0061 鳥取県鳥取市立川町6-234-2-8(草刈 司方)
電話・FAX 0857-24-4258



松本町長プロフィール(北栄町HPより)
 昭和26年2月27日生まれ
 明治大学商学部卒業
 倉吉市農協鳥取県中部農業共済組合を経て
 平成6年6月 北条町議会議員当選(2期)
 平成13年11月 北条町長初当選
 平成17年10月 北栄町長初当選 現在に至る

未来の子どもたちのために 環境に優しいエネルギーを

環境にやさしい風力のまちづくり—松本昭夫北栄町長を訪ねる

「未来の子どもたちのために」と言っておられるが、そこには強い思い入れがあると思うのですが。

化石燃料は有限で、使えばなくなります。これを使い続けて地球温暖化も起こり、負の遺産が残りました。「安全神話」の原発もありますが、これはこのままだと子どもたちや未来の世代にかかわることです。現役世代が作り出した「負の遺産」を次の世代に残していいのでしょうか。「負の遺産」はそれを作り出した現世代が自らの責任で後始末する責任がある」と考えました。

「負の遺産を子どもたち・未来の世代に残してはいけない」と。

これが、北栄町での、自然にやさしい・再生可能なエネルギーとしての「風力発電」で、地球温暖化対策にも貢献しています。

まちの風力発電は効率を考えて現在9基が動いています。最大の自治体としては5136戸の全戸の電力と、さらに

1500戸分の余力をもって、中国電力に全量売電、15年契約で6年過ぎましたが、赤字にならずに運営しています。

自然にやさしい再生エネルギーということでは、現在県と一体になって「太陽光発電設置」への補助活動も行っています。

この七月から再生エネルギーの「全量買い上げ」の法律化がされるようです。関係団体などでの運動もしていますが、新設起業だけでなく、北栄町のような既存の施設への摘要もぜひお願いしたい。

心配なのは「島根原発」で3・11のような事故が起これば、これが起こったら子どもたちの未来も風力発電もまわりの基幹産業の農業もおしまいです。みなさんのお力も借りて、事故の無いようにして、きれいな自然と子どもたちが安心して地域で生き続けられるまちづくりをすすめていきたいと思えます。(文責 草刈 司)

「今回の3・11事故から全国の業界はその深刻さを学びました。島根で事故が起きたら鳥取県の業界は成り立ちません。廃業です」

「福島県飯館村の村長さんは酪農家でした。福島の酪農は鳥取県の倍くらいの規模ですが、牛を育てても乳も肉も放射能や風評被害で売れない、飼育のための牧草やわらもダメ、飼料にも苦勞しています。除染と言っても牧野・山林などのすべてをやるのは難しいでしょう。半減期があるといっても核種によっては長くなる物もある、「お見舞い

わたしたちの組合は(平成22年)正組合員218名、准組合員921名で規模は全国平均より小さいですが、県下のすべての酪農家が参加して、出資金8億3207万円の全額が農民資本による1県1生産組織、1処理工場という全国にないユニークな存在で、乳製品は関西で47・4%、山陽・山陰で45・2%、関東で



大山乳業農協 設立：昭和21年7月21日
 <取扱製品> アイスクリーム、乳酸菌牛乳、乳製品、乳酸菌飲料、乳飲料、醗酵乳、清涼飲料水、菓子類

島根原発で事故が起きたら

畜産業はどうなるのか

福田信一郎 大山乳業農協組合長に聞く

「活断層の巣の中にある島根原発の西150*圏にスッポリ入り、西からの風・海流、雨、降雪に埋まる鳥取県。そんな中で酪農農家のすべてが組合員と言いう大山乳業農協の福田信一郎組合長に琴浦町の組合長室で聞きました。

「一度火をつけた原発はそれを押さえ込む技術を人類はまだ持たないと言われ、福島の事故はいまだその中がどうなっているのか、実態も収束の道筋さえ見えません。「原発」はとりあえずすぐに廃炉にして万全・安全に管理する以外に無いと思います。そうした中でこそ安全の技術も確立されて来るでしょう。本当に祈るような気持ちの毎日です。

2・8%を売り上げて、県経済に一定の貢献をしています。

「島根原発」で福島のような事故が起きたらこの全てが失われることになりません。

いま、政府はTPP参加をめざすとしていますが、TPP(環太平洋経済連携協定)は例外的な無関税撤廃と関税障壁を無くすというもので、これも県下の酪農経営に壊滅的な影響を与えることとなります。TPPはその参加条件の一つに「交渉内容は4年間国民に公表しない」という条項があるようですが、関税が無くなれば、桁違いの乳量生産を誇るアメリカや豪州に太刀打ちできる訳は無く、地産・池消・安心安全の保証は全くありません。しかも、4年間は話が話し合われたかも知れないので、すから手のうちようもない。

そうではなくて、鳥取県の豊かな自然と大地、地域の特質に根ざした地場産業を起し、自然エネルギーなども生かした産業と雇用を拡大して、外国頼みでなく、県民が、地域で安心して暮らせる施策をこそ今政治が為すべきときではないでしょうか。

(文責 草刈 司)



全国 800番目 会員・読者66人で 米子革新懇発足

米子市で昨年9月に革新懇準備会が立ち上げられ、1月12日「平和・民主・住みよい米子をつくる会」の結成総会が開催されました。全国で800番目の革新懇の結成です。

以下、活動方針です。
1、TPPへの参加に反対します。2、原発からの撤退と自然再生エネルギーへの転換を求める運動と鳥根原発稼働を許さないたたかいをします。3、「社会保障と税の一体改革」に反対し、消費税増税を阻止し、社会保障の

充実を求めています。
4、比例定数削減に反対し憲法を守る運動を広げます。5、C2配備に反対し、米軍基地の撤去を求めます。米軍の辺野古への移転は認めません。6、暮らし優先の市政①保育の民営化に反対し、待機児童の解消を求めます。②自校方式による中学校給食の実施を求め、学校給食の民間委託に反対します。③介護の充実と保険料・利用料の軽減の軽減を求めます。④医療の改悪に反対し、国保の資格証発行をやめさせ、保険料・窓口負担の軽減を求めます。⑤中小業者・農業・漁

鳥根原発の永久停止・廃炉と建設中止を 県革新懇が中国電力に申し入れ

鳥根原発2号機が定期検査のため運転停止した1月27日、鳥取県革新懇は中国電力に対し、「鳥根原子力発電所の永久停止・廃炉と建設中止を求める申し入れ」を行いました。鳥根原発では、既に停止中の1号機に加え、今回2

号機が停止し、建設中の3号機が認可されていない現時点で、稼働する原発はゼロとなりました。原発が稼働しなくても管内で電力不足を来す恐れがないことは広く知られています。こうした場合、3・11原発事故の教訓は、人知を持ってしても有効に対処する方法が存在しない原子力事故の場合には、これからの撤退する英知もまた人類のものであると指摘し、1、2号機は運転再開せず廃炉とし、3号機の建設を断念するよう申し入れを行いました。対応した中国電力鳥取支社の担当者は、「後日回答する」と回答しました。

業を再生させ、雇用の安定を図ります。⑥中海の自然を取り戻し、大橋川改修を見直させます。7、ニュー

- 代表世話人
- 芦川 晴雄 (米子民商会長)
 - 大谷 輝子 (元県会議員)
 - 清水 旨伸 (米子医療生協理事長)
 - 高橋 敬幸 (弁護士)
 - 綱 彰 (司法書士)
 - 福住 英行 (日本共産党西部地区委員会委員長)
 - 山本 喜一 (西部労連議長)
 - 渡辺 紀子 (元民商連事務局長)
 - 事務局次長 山本 喜一
 - 事務局次長 砂口 美千子
 - 会計監査 砂口 美千子

原発0へ 3・11原発ゼロ集会と パレード 境 港 革新懇

昨年6月に結成された境港革新懇は、「鳥根原発の廃止・中止、原発ゼロの日」を求める運動を、境港の存亡がかかった問題として位置づけて取り組んでいます。

吉井衆議院議員を迎えた集いなど3回の学習・講演会、一日の街頭・地域での署名行動、町ごとの署名の競い合いなど、原発反対

しに署名を渡して頼み、回収して回って104筆集めた「など、みんなを元気にする経験が生まれています。2月5日現在、署名は1869筆。3・11には「原発ゼロ」の集会とパレードに取り組めます

2012年春闘学習会

2月18日(土)午後1時30分～4時

県民ふれあい会館5階講義室
(鳥取市扇町21 TEL0857-21-2266)

<講師>宮垣 忠さん(国公労連委員長)
藤田安一さん(鳥取大学地域学部教授)

主催:2012年国民春闘共闘鳥取県東部地区懇談会

消費税増税ストップ! 鳥取民商が毎週日曜日宣伝

政府は通常国会で消費税増税法案の成立を狙っていますが、最近では増税反対の世論が過半数を占めるようになってきています。こうした情勢を受けて鳥取民商は、消費税増税反対署名を一人10筆以上集めることを目標に、毎週日曜日に宣伝行動に取り組みます。新日本婦人の会や鳥取県労連も、それぞれ日程を決めて消費税増税反対の宣伝行動に取り組みます。



生くべくんば民衆と共に、死すべくんば民衆のために

弁護士 布施辰治

2012年4月21日(土) 午後2時と6時

とりのぎん文化会館・小ホール

鑑賞料 大人 1,000円 高校生 500円

ちょっと待った! 消費税増税

税と社会保障の「一体」改革を考える

3月3日(土) 午後1時30分～4時

さざんか会館5階会議室

講演: 中田 進さん (関西勤労教育協会講師)

分野別報告

- ①医療、②年金・社会保険料
- ③生活保護、④介護
- ⑤障害者福祉、⑥保育

主催: 鳥取県社会保障推進協議会

TPPで日本はどうなるの?

～ビル・トッテンさんの講演とフォーラム～

と き: 4月14日(土) 午後1時半～4時

ところ: 鳥取市民会館

◇賛同協力券(500円)普及して下さい
◇託児施設を準備します

地元紙でもおなじみの(株)アシスト会長ビル・トッテンさんに講演いただき、各分野の代表の方のお話をうかがいます。

TPP(環太平洋経済連携協定)に参加すると、私たちの暮らしや日本の経済はどうなるのでしょうか? ご一緒に考えてみましょう。

主催: ビル・トッテン講演会実行委員会